

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成20年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第3号（イチゴうどんこ病）を発表しましたので、送付します。

病害虫発生予察 注意報第3号

- 1 農作物名 イチゴ
- 2 病害虫名 うどんこ病
- 3 予報内容
 - (1) 発生地域 県本土
 - (2) 発生量 多

4 情報の根拠

- (1) 12月中～下旬の巡回調査では、葉での発生ほ場率は53%（平年13%）と過去10年間で最も高く、実害となる果実での発生ほ場率も29%（前年18%）と高かった。
- (2) 向こう1か月の天候は、気温が高いと予報されており、発生しやすいと予想される。

表 うどんこ病の発生状況（平成20年12月12～16日調査）

調査場所	調査ほ場数	発生ほ場数 (%)	
		発生ほ場数 (%)	うち果実での発生ほ場
日置市伊集院町中川	5	4	2
さつま町湯田・平川	5	1	0
志布志市有明町野神	7	4	3
計	17	9(53)	5(29)

5 防除上注意すべき事項

- (1) 本病は上位葉の裏面に発生しやすいので、早期発見と早めの防除に努める。
- (2) 発病葉や発病果は伝染源となるので、速やかにほ場外に持ち出し処分する。
- (3) 幼果や果梗などに発生しているほ場では治療効果のある薬剤を約7日おきに散布し、徹底して防除する。
- (4) 薬剤は発病葉を取り除いた後、葉裏や下位葉に十分かかるよう散布する。
- (5) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布に努める。

